



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 エルナー株式会社

コード番号 6972 URL <http://www.elna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 秀俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務経理部長 (氏名) 安藤 正直

TEL 045-470-7252

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	15,849	18.8	525	—	173	—	156	—
25年12月期第2四半期	13,339	△12.0	△272	—	△701	—	△731	—

(注)包括利益 26年12月期第2四半期 155百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △668百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	3.76	2.76
25年12月期第2四半期	△17.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	26,876	3,971	14.7
25年12月期	26,275	3,811	14.4

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 3,948百万円 25年12月期 3,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。

なお、当社が発行する種類株式の配当の状況につきましても、前連結会計年度、当連結会計年度(予想)とも無配であります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	4.2	1,040	273.4	400	—	230	—	5.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	41,611,458 株	25年12月期	41,611,458 株
26年12月期2Q	22,426 株	25年12月期	21,926 株
26年12月期2Q	41,589,125 株	25年12月期2Q	41,590,722 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)のわが国経済は、政府による経済政策等の効果もあり、緩やかな回復傾向にあります。一方では、円安による原材料・エネルギーコストの上昇や中国及び新興国経済の成長鈍化など先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、車載関連分野の受注が伸張したことに加え、生産性改善などが進んだことにより、連結売上高158億4千9百万円(前年同四半期比18.8%増)、連結営業利益5億2千5百万円(前年同四半期は連結営業損失2億7千2百万円)、連結経常利益1億7千3百万円(前年同四半期は連結経常損失7億1百万円)、連結四半期純利益1億5千6百万円(前年同四半期は連結四半期純損失7億3千1百万円)となりました。

(セグメントの業績)

コンデンサ事業におきましては、グローバルな受注活動の成果により欧米車載関連顧客への売上が引き続き拡大し、連結売上高は61億1百万円(前年同四半期比20.4%増)となり、今後もこの受注拡大が見込まれることから、タイ工場の能力増強を今期前倒しで実施いたします。損益面では、売上の増加と原価低減や生産性向上などにより、連結営業利益6億5千1百万円(前年同四半期比119.8%増)となりました。

プリント回路事業におきましては、車載関連分野の受注が伸張したことから、連結売上高96億9千5百万円(前年同四半期比17.2%増)となりました。損益面では、固定費の削減や原価低減などの諸施策を実施した結果、前年同期に比べ収益は改善してきておりますが、製品価格の下落などの影響もあり、連結営業損失1億5千1百万円(前年同四半期は連結営業損失5億6千9百万円)となりました。

プリント回路事業における更なる原価低減、生産性改善を図るため社内での取り組みに加え、物づくり支援で30年以上の歴史と4,000事業所以上の指導実績を持つ、株式会社テクノ経営総合研究所とコンサル契約を結び、生産性15%の改善を進めております。既に開始した一期(2013年10月～2014年3月)では4月までに54名を実施し、更に10月までに50名を予定しており、全体で100名規模の活人化を実施してまいります。これを人員の自然減や新規採用の不補充、派遣社員の削減等に充てることで、労務費を削減しながら、現在、需要が拡大している車載向けの生産増加に対応してまいります。

なお、保有資産の有効活用と環境負荷低減の取り組みとして昨年11月から稼働を開始した太陽光発電事業は予定を上回る発電量で推移しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ流動資産が11億7千8百万円増加し、固定資産が5億7千6百万円減少した結果、268億7千6百万円となりました。この主な要因は現金及び預金の増加4億7千5百万円、受取手形及び売掛金の増加10億1千7百万円、たな卸資産の減少2億4千8百万円および有形固定資産の減少5億7千3百万円によるものであります。

[負債及び純資産]

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ流動負債が2億5千9百万円増加し、固定負債が1億8千2百万円増加した結果、229億5百万円となりました。この主な要因は借入金の増加12億7千9百万円および社債の減少3億9千2百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ1億5千9百万円増加し、39億7千1百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の14.4%から14.7%となりました。

[キャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、4億7千5百万円増加し、28億6千4百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、5千5百万円(前年同四半期は5億1千7百万円の収入)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益2億6千2百万円、減価償却費7億8千5百万円の計上による資金の増加、売上債権の増加11億5百万円による資金の減少があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、2億2千5百万円(前年同四半期は8億5千1百万円の支出)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出3億7千5百万円および固定資産の売却による収入1億5千万円によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は、7億6千2百万円(前年同四半期は3億8千5百万円の収入)となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入35億7千9百万円、長期借入金の返済による支出21億3千4百万円および社債の償還による支出3億9千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月15日に公表しました平成26年12月期連結業績予想を修正しております。
詳しくは、本日(平成26年8月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838	3,314
受取手形及び売掛金	5,839	6,856
商品及び製品	2,478	2,398
仕掛品	1,556	1,463
原材料及び貯蔵品	1,662	1,587
その他	320	253
貸倒引当金	△54	△53
流動資産合計	14,641	15,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,531	3,493
機械装置及び運搬具（純額）	3,056	3,179
土地	2,320	2,167
建設仮勘定	658	186
その他（純額）	1,400	1,365
有形固定資産合計	10,966	10,392
無形固定資産		
のれん	16	8
その他	162	160
無形固定資産合計	178	169
投資その他の資産		
投資有価証券	78	85
その他	411	410
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	488	494
固定資産合計	11,633	11,056
資産合計	26,275	26,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,853	5,823
短期借入金	3,649	3,488
1年内返済予定の長期借入金	3,348	4,105
1年内償還予定の社債	612	440
未払法人税等	154	146
その他	2,030	1,905
流動負債合計	15,649	15,909
固定負債		
社債	220	-
長期借入金	3,655	4,339
再評価に係る繰延税金負債	205	155
退職給付引当金	1,660	1,505
その他	1,071	996
固定負債合計	6,813	6,996
負債合計	22,463	22,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,508	3,508
資本剰余金	496	496
利益剰余金	23	273
自己株式	△4	△4
株主資本合計	4,024	4,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	8
土地再評価差額金	382	288
為替換算調整勘定	△617	△622
その他の包括利益累計額合計	△230	△325
新株予約権	18	22
純資産合計	3,811	3,971
負債純資産合計	26,275	26,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,339	15,849
売上原価	12,199	13,793
売上総利益	1,139	2,056
販売費及び一般管理費	1,412	1,531
営業利益又は営業損失(△)	△272	525
営業外収益		
受取利息	2	1
受取賃貸料	7	7
材料支給益	3	8
その他	21	12
営業外収益合計	35	29
営業外費用		
支払利息	252	259
為替差損	114	9
その他	97	113
営業外費用合計	464	381
経常利益又は経常損失(△)	△701	173
特別利益		
固定資産処分益	0	0
退職給付制度改定益	-	132
特別利益合計	0	133
特別損失		
弁護士報酬等	-	42
固定資産処分損	5	1
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	5	44
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△707	262
法人税、住民税及び事業税	32	118
法人税等調整額	5	△12
法人税等合計	38	105
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△745	156
少数株主損失(△)	△13	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△731	156

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△745	156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	3
為替換算調整勘定	60	△5
その他の包括利益合計	76	△1
四半期包括利益	△668	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△656	155
少数株主に係る四半期包括利益	△12	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△707	262
減価償却費	831	785
のれん償却額	7	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	△154
受取利息及び受取配当金	△4	△2
支払利息	252	259
為替差損益(△は益)	203	△54
固定資産除売却損益(△は益)	4	0
売上債権の増減額(△は増加)	△283	△1,105
たな卸資産の増減額(△は増加)	868	167
仕入債務の増減額(△は減少)	△465	118
その他	97	140
小計	788	425
利息及び配当金の受取額	4	2
利息の支払額	△248	△254
法人税等の支払額	△26	△118
営業活動によるキャッシュ・フロー	517	55
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
固定資産の取得による支出	△839	△375
固定資産の売却による収入	1	150
その他	△11	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△254	△95
長期借入れによる収入	3,830	3,579
長期借入金の返済による支出	△2,607	△2,134
社債の償還による支出	△534	△392
リース債務の返済による支出	△17	△193
配当金の支払額	△30	-
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	385	762
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23	475
現金及び現金同等物の期首残高	2,113	2,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,136	2,864

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)
	コンデンサ (百万円)	プリント回路 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	5,068	8,270	13,339	—	13,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,068	8,270	13,339	—	13,339
セグメント利益又は損失(△)	296	△569	△272	—	△272

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)
	コンデンサ (百万円)	プリント回路 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	6,101	9,695	53	15,849	—	15,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,101	9,695	53	15,849	—	15,849
セグメント利益又は損失(△)	651	△151	26	525	—	525

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。